



IR HANDBOOK

第67期 事業のご報告
2015.4.1▶2016.3.31

人を豊かに、地球を美しく

私たち松田産業は、地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献します。

拡大・成長
牽引部門

貴金属関連事業

売上高構成比
64.3%

事業の成り立ち

1935年に、フィルムなど写真感光材料から、銀の回収・製錬を始めたことが事業のルーツです。銀の製造は金、白金族の貴金属事業へと展開するとともに、定着液や現像液の処理を伴うこの事業は、環境事業へと発展しました。



貴金属事業の概要

貴金属地金・エレクトロニクス業界向け貴金属材料の製造・販売、貴金属のリサイクル、薄膜形成装置治具の精密洗浄等を行っています。エレクトロニクス業界を主要な顧客先としています。

環境事業の概要

感光材料に含まれる銀のリサイクルと、その他製造業から発生する産業廃棄物の収集・運搬、廃酸・廃アルカリなどの無害化中間処理、リサイクルを行っています。

貴金属事業の強み

1. 貴金属化成品などエレクトロニクス業界向け製品を開発・製造・販売。
2. 高度なノウハウで前処理から分析、製錬まで対応。金、銀、白金族などを確実に回収する技術力の高さと取扱高は業界トップクラス。当社の貴金属地金は世界の貴金属市場で流通が認められています。

環境事業の強み

産業廃棄物処理からリサイクルまで、トータルリサイクルソリューションを提供。全国を網羅する産業廃棄物収集・運搬許可網を活用し、小口の廃試薬処理やPCB廃棄物の収集運搬にも柔軟に対応。

事業フロー



安定的成長
部門

食品関連事業

売上高構成比
35.7%

事業の成り立ち

1935年に、食品加工メーカーのマヨネーズ製造過程で不要となった卵白を、かまぼこなど練り製品業界向けに販売したことをルーツとしています。これをきっかけに、魚肉すりみや農産品・畜産品の取り扱いへと拡大しました。



事業の概要

欧米・アジア・南米など世界各地にネットワークを広げ、安全・安心な食材(水産品・畜産品・農産品など)を調達しています。練り製品やハム・ソーセージ、冷凍食品などの加工食品メーカーや、製菓・製パンメーカー、外食・中食業界を主要顧客としています。

事業の強み

1. ユーザーが最も使いやすい形態・ロットで一次加工。新鮮素材を最適技術で現地加工し、高品質・低コストな商品を提供。
2. 品質保証室による技術指導、品質規格書の発行や、トレーサビリティの実施で安全・安心の差別化。
3. すりみ、エビ、タコ、貝、卵、畜産品、乾燥野菜、冷凍野菜など、多種多様な商品を提供。

事業フロー



中期経営計画(2016-2018年度)のもと、さらなる企業価値向上への取り組みに邁進します。



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社の2016年3月期(2015年4月1日～2016年3月31日)のIR HANDBOOKをお届けいたします。本誌を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。

代表取締役社長 松田 芳明

2016年3月期の業績と配当につきまして

国内では非製造業を中心とする企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、製造業の生産活動や個人消費に弱さが見られる状況で推移しました。

こうしたなか貴金属関連事業では、貴金属原料の確保や化成品等の販売、産業廃棄物処理の受託拡大に取り組み、ベトナム新工場など海外拠点の拡充を進めてまいりましたが、貴金属リサイクルの取扱量の減少や貴金属製品や電子材料の販売減、貴金属相場変動の影響等から減収減益となりました。食品関連事業では、海外拠点の強化や顧客ニーズをとらえた商品提供に取り組み、水産品・畜産品の販売量は増加し、販売価格も上昇したものの、原価や販管費の増大等から増収減益となりました。

この結果、2016年3月期の連結業績は、売上高は前期比9.7%減の1,620億65百万円、営業利益は同42.2%減の31億25百万円となりました。経常利益は同35.1%減の37億82百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同23.0%減の25億73百万円となりました。

期末配当金につきましては、期初予定通り1株当たり13円の普通配当に株式公開20周年記念配当1円を加えた14円とし、中間配当金(普通配当および記念配当)と合わせた年間配当金は28円といたしました。2017年3月期の1株当たり年間配当金は、普通配当として28円とする予定です。

2016年3月期 ハイライト

貴金属関連事業

- 2015年4月
第2回高機能金属展2015に出展
- 2015年6月
JPCA Show 2015に出展

食品関連事業

- 2016年2月
ガルフ食品株式会社の全株式を取得

その他経営関連

- 2015年6月～2015年12月(複数回)
自己株式の取得を実施

中期経営計画(2016-2018年度)をスタートしました

当社はさらなる企業価値向上を目指して、中期経営計画(2016-2018年度)をスタートしました。限りある地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献するという企業理念のもと、貴金属関連事業を拡大・成長牽引部門、食品関連事業を安定的成長部門と位置付け、顧客ニーズに対応した高い付加価値を提供し続けることで持続的成長を図ってまいります。中長期的な経営指標としては総資産経常利益率10%以上を掲げ、収益性の向上と効率経営の実現を目指してまいります。

この達成に向けた経営戦略として、「既存事業の収益極大化」「新たな収益源の構築」「東アジア地区での積極拡大」「最適な管理体制の構築」「人材育成・確保」の5つを重点方針として取り組んでまいります。

貴金属関連事業では、長年培ってきた総合力を活かし、顧客ニーズにマッチしたアイテムの拡充や、環境価値の高い商品・サービスによりシェアと収益性の向上を図ります。また顧客の生産性向上に資する新たな電子材料や洗浄・メンテナンス技術の開発により、一層の事業拡大に努めてまいります。そして引き続き「東アジアNo.1リファイナー」を目指し、現地ネットワークを駆使し、グローバル競争に対応した地域戦略を展開してまいります。

食品関連事業では、当社ならではの品質保証ノウハウや

調達力を活かし、安全・安心・高品質な商品の安定的供給によって市場拡大と収益向上を図ってまいります。また顧客ニーズに対応した加工や新たな商品ラインアップによって事業拡大を図るとともに、東アジアにおいては中国・タイの現地法人を活用し、良質な供給ソースの確保と調達力の強化により、市場拡大の可能性を追求してまいります。

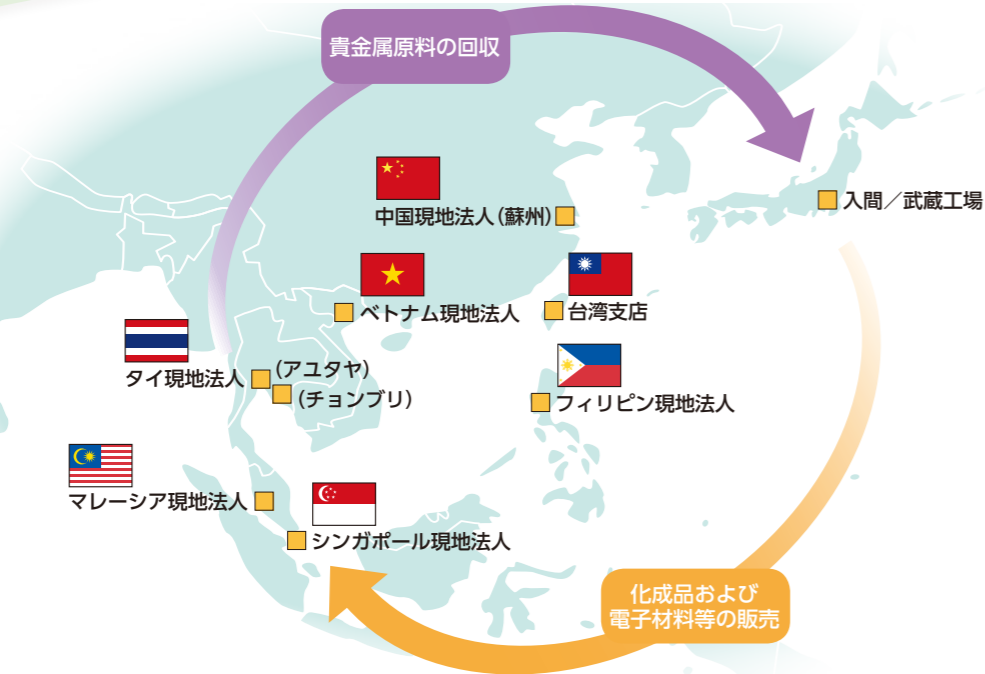
これら両事業での戦略に加え、健全かつ持続的成長のための管理体制の強化や、積極的な人材育成にも取り組み、中期経営計画最終年度の2019年3月期の連結業績目標として、売上高2,100億円、営業利益50億円の達成を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

グローバルネットワーク & 営業概況

貴金属関連事業 東アジアネットワーク

■拠点(貴金属関連)



食品関連事業の 拠点と主な調達先

■拠点(食品関連) ■食品の調達先



貴金属関連事業

2016年3月期の業績

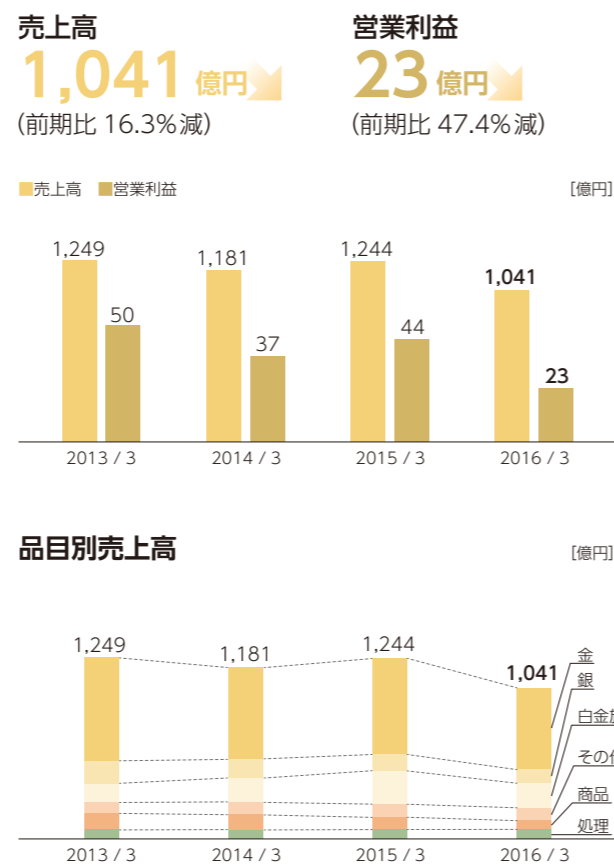
主力顧客である半導体・電子部品業界ではスマートフォンや自動車等の市場動向に左右された変動が見られ、生産状況が総じて減少傾向で推移したほか、写真感材業界の市場縮小も継続しました。こうしたなか、貴金属リサイクルおよび産業廃棄物処理の取扱量や貴金属製品および電子材料等の販売量が減少し、金を除く貴金属相場の下落等も影響した結果、売上高は減少しました。

2017年3月期の見通しと施策

国内外の景気下振れ懸念など先行き不透明感は継続するものの、エレクトロニクス業界の生産状況の底打ち感から化成品および電子材料等の販売増加を見込んでおります。中期経営計画に基づき国内外の拠点拡充や新規需要開拓にも積極的に取り組んでまいります。

Q 自動車にも多くの貴金属が使われているそうですが、自動車関連の貴金属の取引は行っていますか？

当社はエレクトロニクス業界の幅広いお客様とお取引させていただいており、自動車に搭載される電子部品向けの貴金属材料の販売やリサイクルも行っています。安全性のさらなる向上や、今後の自動運転の実現・普及へ向けて、自動車のエレクトロニクス化はますます加速傾向にあるため、今後のさらなる市場拡大に期待しております。



食品関連事業

2016年3月期の業績

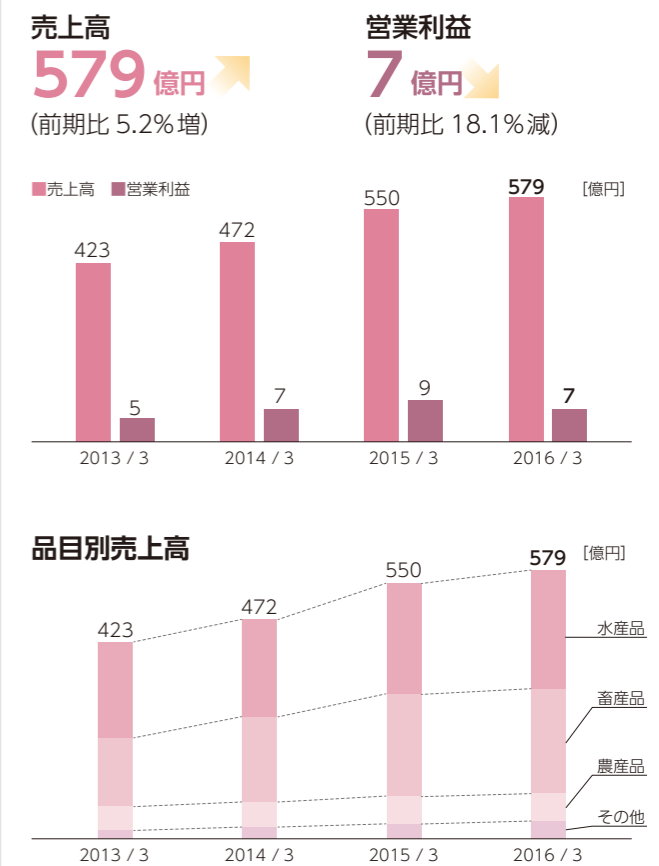
食品製造業の生産指数はわずかに上昇したものの、個人の消費マインドには依然として弱さが見られるなど、厳しい事業環境が継続しました。こうしたなか、農産物は販売数量が減少したものの、水産品および畜産品の販売数量の増加と、価格の上昇により、売上高は増加しました。

2017年3月期の見通しと施策

国内景況感の緩やかな改善を背景とする高付加価値品の需要拡大が期待されるなか、2016年2月に全株式を取得したガルフ食品株式会社との相乗効果や、海外拠点の活用も含め、顧客ニーズを的確にとらえた営業活動を行い、着実な収益確保を図ります。

Q 日本食ブームやインバウンド需要の拡大は、食品関連事業にどんな影響をもたらしていますか？

日本食ブームの背景として、健康や食に対する安全・安心に対する世界的な関心の高まりがあります。当社の食品関連事業においても、長年培った品質保証に関するノウハウを強みに、日本食ブーム、インバウンド需要を取り込んだ販売拡大に注力し、海外現地法人の活用を含め、今後のさらなる事業拡大を目指してまいります。



ベトナムで貴金属製錬工場が本格操業開始！

かねてより建設を進めてきたベトナムの貴金属製錬工場が、本年4月より本格的に操業を開始しました。新工場は多数の日系エレクトロニクス・電子部品メーカーが拠点を構えるタンロンⅡ工業団地に立地し、効率的な貴金属回収が可能な設備を導入しています。

今回のベトナム工場の操業開始により、当社の東アジアでの貴金属回収ネットワークは、シンガポール、タイ、フィリピン、中国（蘇州）、マレーシア、ベトナムの6現地法人体制に強化されました。ベトナムでは中長期的な貴金属回収需要の拡大が見込まれていることから、今後は同国においても貴金属原料の回収・製錬と貴金属材料の販売を加速し、東アジアNo.1のリファイナーへの歩みを着実に進めてまいります。



ベトナム工場開所式(4月)



ベトナム現地法人
および製錬工場

ベトナム



ガルフ食品株式会社の株式を取得

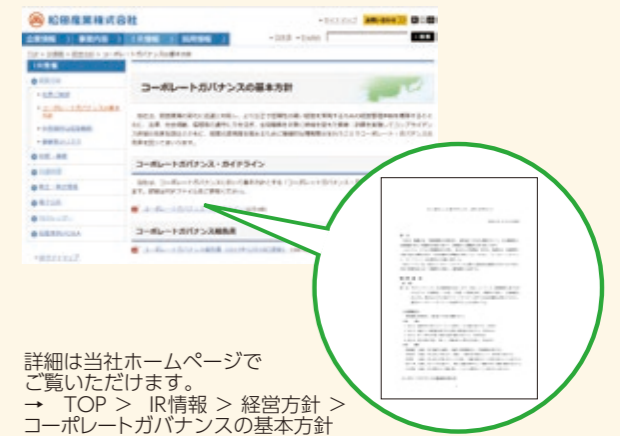
当社は、食品関連事業のコア事業の一つとして水産品の取り扱いに注力しており、エビ、イカ、タコ、貝類、冷凍魚をはじめとする様々な魚介類を、アジアを中心とした世界各国の産地から調達しています。

本年2月、水産品の専門商社である「ガルフ食品株式会社」の全株式を取得し、当社の連結対象としました。同社は長年の輸入実績とノウハウがあり、当社が展開する水産品販売におけるマーケット領域の拡大や売上拡大に相乗効果が期待できます。これにより、食品関連事業の拡大を図り、さらなる企業価値の向上に邁進してまいります。

[ガルフ食品株式会社の概要]
 商号：ガルフ食品株式会社
 本店所在地：東京都中央区築地
 資本金：1,500万円
 設立年月日：1978年12月

コーポレートガバナンス・ガイドラインを制定

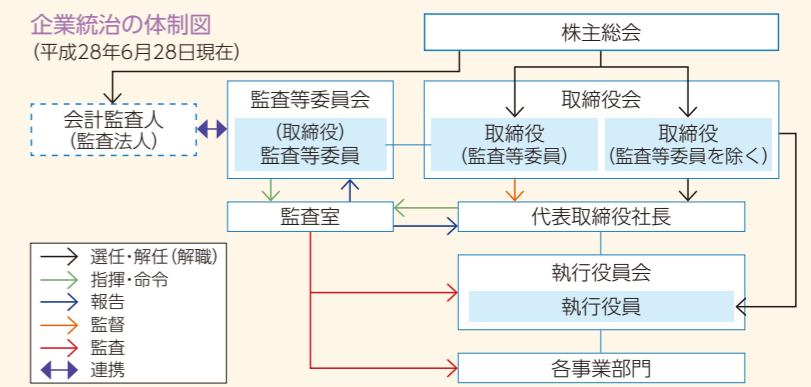
当社は昨年12月、「コーポレートガバナンス・ガイドライン」を制定・公表しました。これは、昨年6月より適用されている「コーポレートガバナンス・コード」の趣旨・精神を踏まえ、当社が持続的に成長し、企業価値を向上させ、株主およびその他のステークホルダーの皆様に対する社会的責任を果たすために、最良のコーポレートガバナンスを追求することを目的として定めたものです。本ガイドラインは、当社のコーポレートガバナンスに関する基本的な枠組みを示すものです。今後、取締役会において継続的に見直し、適時適切に公表してまいります。



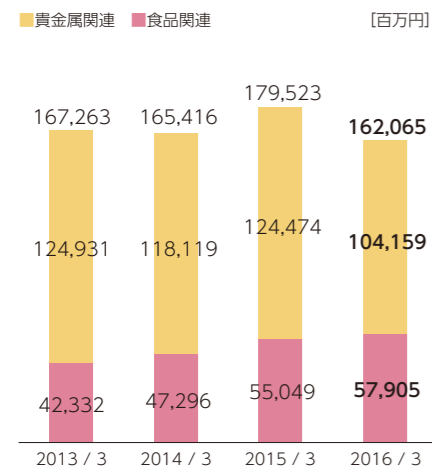
執行役員制度をスタート

6月28日の株主総会において株主の皆様よりご承認いただきました当社定款の変更に基づき、執行役員制度をスタートいたしました。

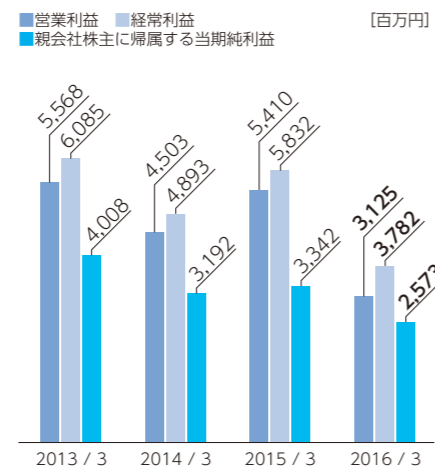
当社を取り巻く環境の変化に対し、より適切かつ迅速に対応するとともに、経営の意思決定および業務執行の監督機能と業務執行機能を分離することで、経営機能と業務執行機能の双方の強化を図ってまいります。



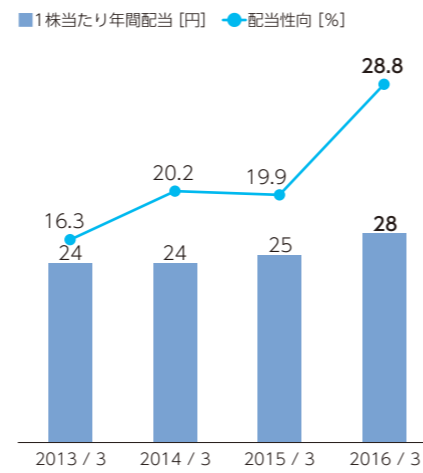
売上高



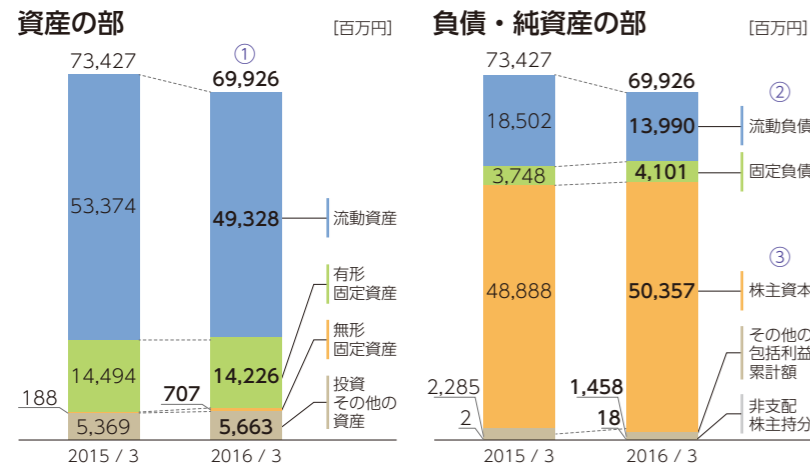
営業利益/経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり年間配当/配当性向

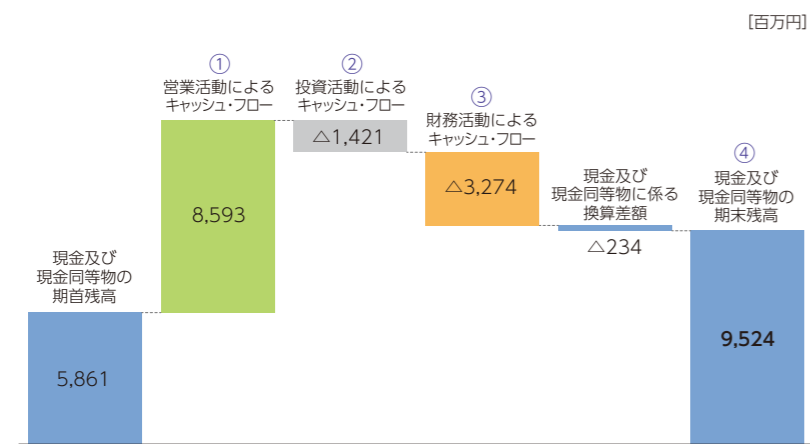


貸借対照表



- ①現金及び預金の増加を上回る売上債権・たな卸資産・その他流動資産の減少等により、資産の部は3,500百万円の減少となりました。
- ②買掛金・借入金・未払法人税等の減少等により、負債の部は4,159百万円の減少となりました。
- ③配当金の支払いと自己株式の取得による減少および為替換算調整勘定などのその他の包括利益の減少を、親会社株主に帰属する当期純利益による増加が上回ったことから、純資産の部は658百万円の増加となりました。

キャッシュ・フロー計算書



- ①税金等調整前当期純利益、減価償却費、売上債権の減少、たな卸資産の減少による資金の増加と、法人税等の支払いによる資金の減少の差引等により、8,593百万円の収入となりました。
- ②工場設備の新設・更新等の有形固定資産取得と、子会社株式の取得等により、1,421百万円の支出となりました。
- ③借入金の減少、配当金の支払いおよび自己株式の取得等により、3,274百万円の支出となりました。
- ④以上により、現金及び現金同等物の期末残高は前連結会計年度末から3,663百万円増加し、9,524百万円となりました。

会社概要

(2016年3月31日 現在)

商号	松田産業株式会社
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-26-2
設立年月日	1951年6月18日
資本金	3,559百万円
従業員数(連結)	1,050名
主な事業内容	貴金属回収製錬、貴金属地金・電子材料他の販売、食品加工原材料の卸売、産業廃棄物の収集・運搬・処理
会計監査人	新日本有限責任監査法人

役員一覧

(2016年6月28日 現在)

代表取締役社長	松田 芳明	監査等委員	内山 敏彦
取締役副社長	對馬 浩二		樋口 和男
取締役	片山 雄司		中岡 利徳
	佐々木 隆茂		畠山 伸一
	山崎 隆一		
	木下 敦視		
	石禾 健二		

※監査等委員はいずれも社外取締役です。

事業所

(2016年3月31日 現在)

金属・環境営業本部	仙台 / 水戸 / 東京 / 東京第二 / 神奈川 / 長野 / 名古屋 / 金沢 / 大阪 / 福山 / 福岡 / 鹿児島
アーバンリサイクル営業部	仙台 / 埼玉 / 東京 / 神奈川 / 名古屋 / 大阪 / 福岡
食品事業部	札幌 / 仙台 / 塩釜 / いわき / 北関東 / 東京第一 / 東京第二 / 小田原 / 名古屋 / 大阪 / 松山 / 福岡 / 品質保証室
生産部門	開発センター / 武蔵工場 / 武蔵第三 / 入間工場 / 入間第二 / 品質保証室

関係会社

(2016年3月31日 現在)

マツダ流通株式会社	貨物自動車運送
マツダ環境株式会社	貴金属製品販売
北海道アオキ化学株式会社	産業廃棄物の収集・運搬および処理、金属原料の回収・販売
日本メディカルテクノロジー株式会社	金属原料の回収・販売
ゼロ・ジャパン株式会社	真空加熱分離装置(VTR)の設計・製造・販売および保守
ガルフ食品株式会社	水産品の輸入卸売
日鉄住金マイクロメタル株式会社	電子工業用金属製品の製造・販売

現地法人

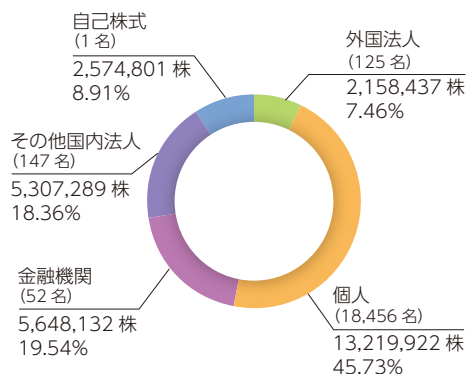
(2016年3月31日 現在)

貴金属関連	Matsuda Sangyo (Thailand) Co., Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Philippines) Corporation	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Singapore) Pte. Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	松田資源利用(蘇州)有限公司	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Malaysia) Sdn. Bhd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
Matsuda Sangyo (Vietnam) Co., Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売	
食品関連	松田商貿(青島)有限公司	食品加工原材料の販売、仕入仲介
	Matsuda Sangyo Trading (Thailand) Co., Ltd.	食品加工原材料の販売、仕入仲介

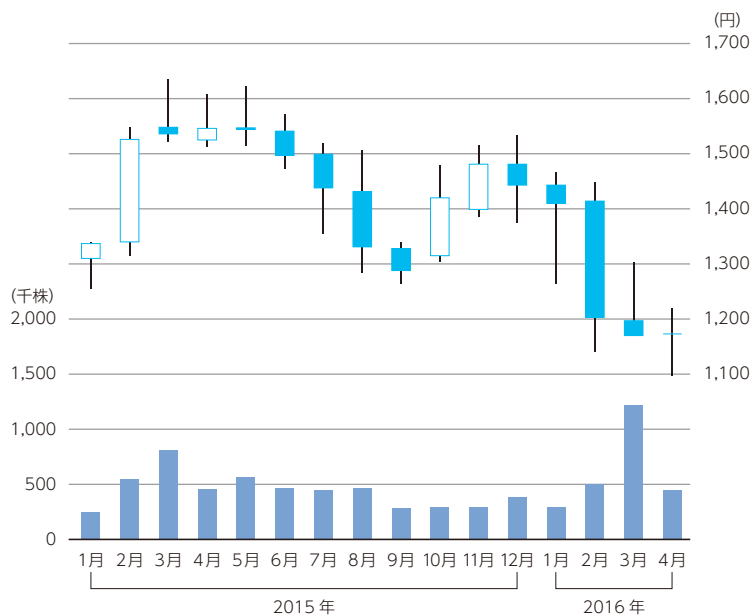
株式の状況 (2016年3月31日 現在)

株式の総数	40,000,000株
発行済株式総数	28,908,581株
株主数	18,781名

所有者別分布状況 (2016年3月31日 現在)



株価・出来高推移



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主優待

1 対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された、1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。*

2 優待の内容

一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈いたします。



3 贈呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。

*株主優待制度につきましては、2017年3月31日現在の株主名簿に記載された株主様から、変更後の新制度を適用させていただきます。詳細につきましては別紙「株主優待制度の変更に関するお知らせ」をご参照ください。

ホームページのご案内

松田産業

検索

トップ画面

当社の事業や強み、最新の取り組みをご紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



松田産業株式会社

証券コード:7456

東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル
Tel. 03-5381-0001 (代表)

